

この便りはホームページでご覧いただくと写真が大きくきれいに見られます。

令和5年度 豊川市立豊小学校 学校だより

ゆたか

第20号
2024.3.5



←児童会が「委員会へお礼の手紙を出そう」と呼びかけたところ、にっこりポストに心温まるハガキがたくさん投函されました！

★ みんなで準備した「ありがとうの会」大成功！！



地域の方に感謝を表し、6年生を送る会として、全校で楽しい思い出となる会を開きました。
～以下、6年生の振り返りの文を紹介～



1年生の歌ってくれた替え歌がすごくかわいくて、ペアの子が作ってくれたプレゼントもステキでした。／折り紙のペンダントにメッセージが書いてあって、うれしかったです。／いろいろうれしくて、別れるのが悲しくなりました。



2年生のびっくり箱にホントにびっくりしました。箱の中から出てくるのが可愛かったです。／クイズがあって思い出がよみがえってきました。「確かにこういうことしたなあ」となつかしくなりました。



3年生の豊川豊はおもしろすぎて、個人的には1番ウケました。マッシュルのOPという発想がすごいです。／「6年豊」という替え歌でダンスをすごく元気よく踊っていて、おかげで明るい気持ちになって楽しかったです。



4年生がやってくれた疋田先生・河合先生・シカのお面に笑いました。／「あほろく」は大切な思い出なので、ちょっと涙が出ました。／みんなが一生懸命練習してくれたんだな、と思いました。／こんなにやってくれて豊小学校のみんなはすごいなあ。



5年生の光の舞も「世界に一つだけの花」も感動しました。／会場の飾りつけのクオリティが高くて司会もしてくれて、きっちりばな6年生になってくれると思いました。／私たちに楽しんでもらいたいという想いが伝わってきて、うれしくなりました。



地域のみなさん、これからも豊小をよろしく願います。↓ゆたかんと「はい、ポーズ」



全校からのお礼の言葉を綴ったファイルを贈呈しました。



最後に歌った6年生の合唱「絆」には、1～5年生への感謝の気持ちを込めたつもりです。／全力で歌ったけれど、まだ上手くなれると思うので、卒業式は、がんばります！

むかしの担任の先生たちのビデオ、泣けちゃいました。



「それぞれの学年の出し物や歌、1・2年生のプレゼント、小林先生たちの動画や児童会のがんばり、などが、心にグッとくる場所もあれば、笑えるところもあり、とても楽しくて、2時間ほどの時間が一瞬で過ぎていった気がする会でした。これはまさしく、ありがとうの一言では収まりきらなくて、感謝でいっぱいです。」

「自分たちがやってきたことをやってもらうことが、こんなに楽しくて、うれしいものだとなりました。こういうふうに、ありがとうを伝えて相手をうれしく楽しくさせることは、おたがいにいい気分になれるから、ありがとうを伝えるのは、とても大切だとわかりました。」

「今日、初めて出し物を見せてもらう立場になって、今までの6年生がこんな思いで他の学年の出し物を見ていたんだ、とわかり、1～5年生のみんなに感謝の気持ちが出てきました。お世話になった先生たちのスライドも見て、とてもうれしくて、感動しました。」

★豊小のみんな、今の学級とのお別れも近づいてきましたね。

そこで、次の学年に進級する前に、今の学年を後悔せず終えるようにしようよ。

自分の毎日の行動に、ちょっと勇気を出してチャレンジすること、

つくってみませんか？



自分を変えることができるのは、自分。もうすぐ進級、この時期は自分を変えるチャンスです。心の準備をしましょう。

2月児童集会で紹介したファーストペンギンの話を覚えていますか？エサをとるために海の中に飛び込まなくてはならないけれど、シャチのような天敵がこわくて、みんなで立ち止まってしまうペンギンたち。そんな中で最初に海に飛び込むペンギンのことを言うのでしたね。

1羽が飛び込むと、次々とほかのペンギンが後に続いていく、そして、その最初の1羽になるペンギンはいつも違うのだそうです。勇気をもって「最初に行動を起こす者」。それがファーストペンギンです。